

ウズベキスタン共和国

ウズベキスタン共和国は中央アジアの真ん中に位置する内陸国です。

国土は日本の1.2倍、中央アジア最大の人口を誇り（約3,500万人）、その65%以上が生産年齢人口であり、大きな潜在成長力を秘めています。近年、進められている経済システムの自由化により、同国経済は力強い成長を遂げており、投資環境の改善により、外国資本の投資も活発化しています。IT産業の発展は、政府が進める経済改革の最優先課題の一つであり、デジタル経済を積極的に発展させる為の包括的な施策により、同国のIT産業は近年急速な発展を遂げ、外国投資も増加しています。IT企業の為の自由経済特区として設立されたITパークの居住者登録数は500を超え2025年度の輸出売上は5億ドルに達すると見込まれています。

今回のイベントでは、ウズベキスタンの最新ビジネス情報をご紹介するとともに、UJCで学んだIT企業経営者10社10名と、ご参加頂く皆様とのビジネス交流の機会を提供します。



【大阪で開催されたビジネス交流会の様子】



【参加された企業の声の一部】

- 情報の少ないウズベキスタン経済・投資環境についての最新情報を得る事が出来た
- 今後、継続的にやり取りが出来る企業との出会いがあった
- 通訳のレベルが高くあらゆる話題に対応頂いた（日本語しか話せなくても大丈夫）



左：【首都 タシケント中心部】

近年の経済成長により、首都には近代的なホテル・ビジネスビルが建ち始めており、古代と近代が混在している

右：【第二の都市 サマルカンド】

古来より「シルクロード交易の要衝」、「文化交差路」として栄える。2001年に世界遺産に認定。